

2005年6月1日

報道関係各位

株式会社ピコラボ

## 次世代ソフトウェア技術者の育成を目指すディベートトーナメント 『Object-One』の開催について

株式会社ピコラボ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 青木保一、以下ピコラボ）は、オブジェクト指向技術を中心としたソフトウェア工学/ソフトウェア科学に関する幅広い知識と実践力を競う若手 IT 技術者向けディベートトーナメント『Object-One』を次の通り開催いたします。

1. 日時 : 2005年6月20日（月曜日）19時～22時
2. 場所 : 虎ノ門パストラル 新館4階（最寄り駅：日比谷線 神谷町駅2分）
3. 主催 : 株式会社ピコラボ
4. 共催/協賛企業 : ITX株式会社、アイティメディア株式会社、株式会社コンポーネントスクエア、テクマトリックス株式会社、株式会社豆蔵
5. 協力 : @IT アーキテクト
6. URL : <http://www.c-sq.com/jump/object-one/article32.html>
7. 概要 : 公募により選抜された8名のディベーターが事前に設定されたテーマについて議論し、トーナメント戦により、優勝者、準優勝者を決定します。各セッションの勝敗はオブジェクト指向技術に深い見識を持つ審査員団と、参加者の皆様によって決定します。ディベーターと観戦者が熱い議論で一緒に盛り上がる参加型イベントを目指します。
8. 審査員 : 青木保一（審査委員長：株式会社ピコラボ）、青柳龍也（津田塾大学）、勝屋久（IBM Venture Capital Group 日本担当）、大藤倫昭（テクマトリックス株式会社）、萩本順三（株式会社豆蔵）、丸山不二夫（稚内北星学園大学）  
（敬称略・順不同）

### 【主催者からのメッセージ】

1990年代、インターネットやJavaの黎明期に第一線で活躍していた人材は、現在、先端IT業界を支える中心的な役割を果たしています。その後のIT業界の成熟に伴い、開発現場における短期的成果達成への集中は加速しましたが、このことは多くの若手技術者が創造性を発揮する機会を十分に得られないまま日々の現場の業務に専念せざるを得ない状況をもたらしたともいえます。今日のIT業界は新たなエバンジェリストを生み出し難い構造になりつつあるといえるでしょう。

『Object-One』は、こうした問題意識を共にするIT企業や技術者、研究者の協力により、若手ソフトウェア技術者に活発な議論を通して相互研鑽する機会を提供し、IT業界にブレークスルーをもたらす次世代人材育成の一翼を担うことを目的としています。

今後の革新的なIT技術や新たな市場の発展に意欲を持つ20代、30代の技術者、研究者が『Object-One』に集まり、所属する組織の枠を超えて自由に議論することによって、次代のIT業界を牽引する若い力を育てていきたいと願っています。

### \*株式会社ピコラボについて

株式会社ピコラボは1990年代にいち早くオブジェクト指向技術に取り組んだベンチャー企業、株式会社デュオシステムズの子会社であり、現在はオブジェクト指向技術に限らず広く先端IT技術を軸に、調査研究からビジネス化、製品化に至る研究開発プロセスの総合的なプロデュース支援や技術コンサルティングを中心とした研究開発支援事業を展開しております。

### 【本プレスリリースのお問い合わせ先】

株式会社ピコラボ 担当：勝部 恵美子 TEL 03 - 3591 - 5104

### 【本イベントに関するお問い合わせ先】

株式会社コンポーネントスクエア Object-One 運営事務局 担当：宮澤 茂  
TEL : 03 - 5743 - 6140 E-mail : [object-one@c-sq.com](mailto:object-one@c-sq.com)